

各医療機関の長 殿

青森県健康福祉部長
(公 印 省 略)

地域医療構想の実現に向けた病床の有効活用について（依頼）

本県の医療行政の推進につきましては、日頃より格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、県では、いわゆる団塊の世代が全て 7 5 歳以上となる平成 3 7 年（2 0 2 5 年）を見据え、地域の実情や患者のニーズに応じて資源の効果的かつ効率的な配置を促し、急性期、回復期等から、在宅医療・介護に至るまで一連のサービスが切れ目なく、過不足なく提供される体制の確保を目的として、平成 2 8 年 3 月に青森県地域医療構想を策定し、その実現に向けて各地域における地域医療構想調整会議での協議を進めています。

同構想では、医療機能に応じて必要となる病床数を適正に確保する観点から、病床の機能分化・連携を進めることとしていますが、その一環として、活用の見込みがない病床については、他施設への転換や返還を進める等により、病床の有効活用を図っていくこととしています。

つきましては、現在稼働しておらず、今後も活用の見込みがない許可病床を保有している施設におかれましては、病床の他施設への転換や返還について御検討くださるようお願いいたします。

なお、病床機能の転換（急性期から回復期等）を行う場合や在宅医療支援機能の充実に取り組む医療機関については、施設・機器整備や人材育成に係る経費について、県の補助事業を活用できる場合もありますので、医療薬務課まで御相談ください。

記

【参考事項】

1. 有床診療所等スプリンクラー等施設整備費補助事業について
2. 許可病床削減時の普通交付税算定の特例について
3. 病院（診療所）開設許可事項の変更に伴う医療法上の手続きについて

担 当：青森県健康福祉部

医療薬務課 地域医療確保グループ 小川

TEL：0 1 7－7 3 4－9 2 8 7（直通）

FAX：0 1 7－7 3 4－8 0 8 9